

# Panasonic®

## 取扱説明書 <基本編> ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-4TS204S

安全上のご注意  
ご使用前に必ずお読みください。  
(3 ~ 5 ページ)

接続と設定を行う  
(8 ~ 17 ページ)

画面説明 ▶ 18  
ページ

設定・視聴・録画 ▶ 19  
ページ

再生・ダビング ▶ 23  
ページ

必要なとき ▶ 25  
ページ



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

「CLUB Panasonic」に  
「商品登録」をお願いします。

右記のQRコードから  
登録していただくと、  
品番と製造番号を入力する  
必要がなく、簡単に登録  
いただけます。



つなぎ方サポート  
接続方法は、こちらでも  
詳しくお知らせしています。



### さらに詳しい操作説明は

<https://panasonic.jp/support/av/diga829/>

「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)を閲覧・印刷するためには、Adobe Readerが必要です。

Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードできます。  
(2025年9月現在)

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html>



[https://panasonic.jp/  
support/av/diga708/](https://panasonic.jp/support/av/diga708/)

保証書付き

DVQX2919ZA/X1

# ご案内

- ・本書内で参照していただくページを(→○○)で示しています。

## BS4K/110度CS4K放送について

- ・従来のBS・110度CS放送の右旋円偏波の電波で放送される4K放送とBS・110度CSの左旋円偏波の電波で放送される4K放送があります。(本機では8K放送は受信できません)  
2025年9月時点では、BS・110度CSでの左旋円偏波を用いた4K放送は実施されていません。
- ・本書では「4K放送」と表現しています。

## 当社ホームページとサポートサイトのご案内

本機を使用していただくための情報を掲載しています。



当社ホームページ内のサポートサイトでは以下の情報を掲載しています。

- ・よくあるご質問：動作確認情報
- ・スマートフォンのアプリ情報
- ・ソフトウェアのダウンロード情報
- ・取扱説明書 活用ガイド

サポートサイトは以下のアドレスからもご確認いただけます。

<https://panasonic.com/jp/support/recorder/>



ホームページの内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



どこでもディーガ

- ①本機で録画した番組・取り込んだ音楽・写真・動画をスマホやタブレットで視聴できる
- ②スマホやタブレットで撮った写真・動画を「ディーガ」に送れる
- ③離れて暮らす家族の「ディーガ」にスマホやタブレットから写真や動画を送れる

視聴アプリ「どこでもディーガ（無料）」のダウンロードが必要です。

ダウンロード・「どこでもディーガ」に関する詳細は下記ホームページまたはQRコードよりアクセスください。



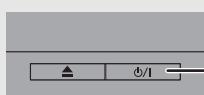
[https://panasonic.jp/support/av/d\\_diga/](https://panasonic.jp/support/av/d_diga/)

【記載内容】

- ・ディーガ本体対応機器一覧
- ・設定・準備手順について
- ・FAQ（よくあるご質問）

「どこでもディーガ」の登録・設定には、スマホやタブレットとディーガ本体とを同じ宅内ネットワーク上で接続する必要があります。

本機の操作ができなくなったときは…



[S/I]を  
3秒以上押す

- ① 本体の[S/I]を押し、電源を切る
  - ・切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。  
(それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)
- ② 本体の[S/I]を押し、電源を入れる
  - （起動に時間がかかる場合があります）

故障かな？と思った場合(→29)

# 安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



## 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



## 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



## 警告

### 異常・故障時には直ちに使用を中止する



#### 異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
  - 映像や音声が出ないことがある
  - 内部に水や異物が入った
  - 電源プラグが異常に熱い
  - 本体に変形や破損した部分がある
- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。



#### 雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

感電の原因になります。



#### ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止 感電の原因になります。



#### 分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、分解禁止 感電の原因になります。

### 電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

### 電源コード・プラグを破損するようなことはしない



（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

### 可燃性ガスのスプレー等を使用しない



清掃用などの可燃性ガスを本機に使用すると、静電気などの影響により、火災の原因になることがあります。

### 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 油煙や湯気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かないでください。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

- 特に子様にはご注意ください。

# 安全上のご注意（必ずお守りください）（続き）

## ! 警告

### コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たとえ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

### 電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- $\oplus$  と  $\ominus$  を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- $\oplus$  と  $\ominus$  を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。  
● 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

### 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

### 電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になりますので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

### 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあります。誤動作による事故の原因になります。

### 病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります。誤動作による事故の原因になります。

### 心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から 15 cm 以上離す

本機からの電波がペースメーカーの動作に影響を与える場合があります。

## ! 注意

### 異常に温度が高くなるところに置かない

- 温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

### 放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、火災の原因になります。
- 背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

### 不安定な場所に置かない

- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない  
倒れたり落すと、けがの原因になります。

### コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になります。また、引っかかると、けがの原因になります。

# ⚠ 注意

## 本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落すと、けがの原因になります。

また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

## 屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

## 長期間使わないときは、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く



通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 電源プラグ
- ディスクやUSB機器は、保護のため取り出しておいてください。

## 長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

## ディスクトレイに指をはさまれないように注意する



けがの原因になることがあります。

- 特に子様にはご注意ください。

## 機器の前にものを置かない

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

## 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

## 3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

## 3D映像の視聴年齢については、およそ5~6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

## 3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になります。

- 適度な休憩をとってください。
- 3D映像の見えかたには個人差がありますので、「3D設定」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

## スピーカー等の磁気を発生する機器を本機の上に載せない

磁力や振動の影響により、誤動作や故障の原因になります。

### 本機の設置について

- アンプなどの熱源となる物の上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。



タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。

# 付属品 / リモコンの準備 / 各部の働き

## 付属品

リモコン（1個）  
N2QAYB001291

リモコン用乾電池（2個）  
単3形乾電池

電源コード（1本）  
K2CA2YY00402

- ・小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- ・電源コードキャップ\* および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。  
※ 付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。
- ・付属品の品番は、2025年9月現在のものです。  
変更されることがあります。

・電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

付属品の一部および別売品は販売店でお買い求めいただけます。

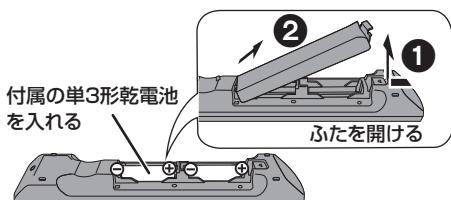
パナソニックの公式通販サイトでお買い求めいただけるものもあります。

詳しくはパナソニックの公式通販サイトをご覧ください。

パナソニックの公式通販サイト  
<https://panasonic.jp/store/>



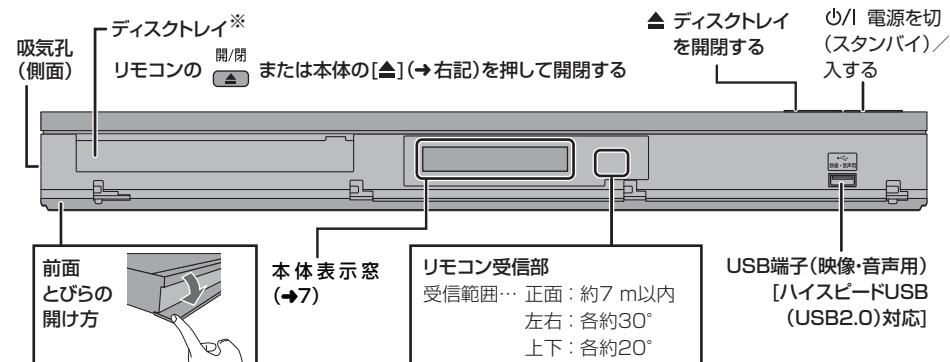
## リモコンに電池を入れる



- ・④⑤を確認してください。
- ・電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

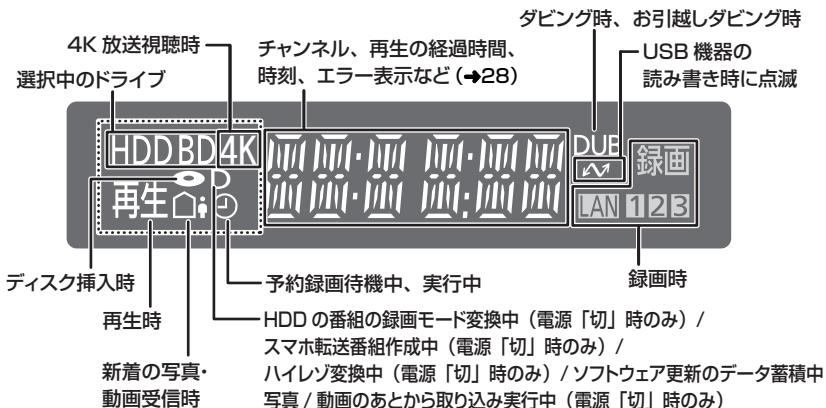
リモコンのふたを閉じるときは、開けるときと逆の手順②①で閉じてください。

## 本体前面



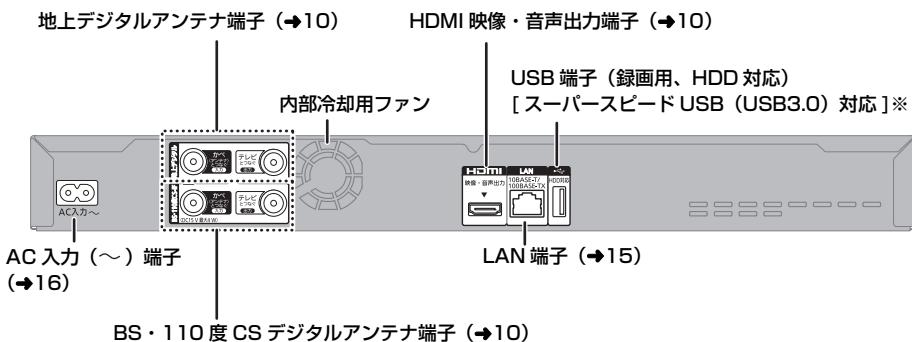
## 本体表示窓

以下の場合に点灯表示します。



☞ 本体表示窓に時刻を表示させるには (→ 活用ガイド)

## 本体背面



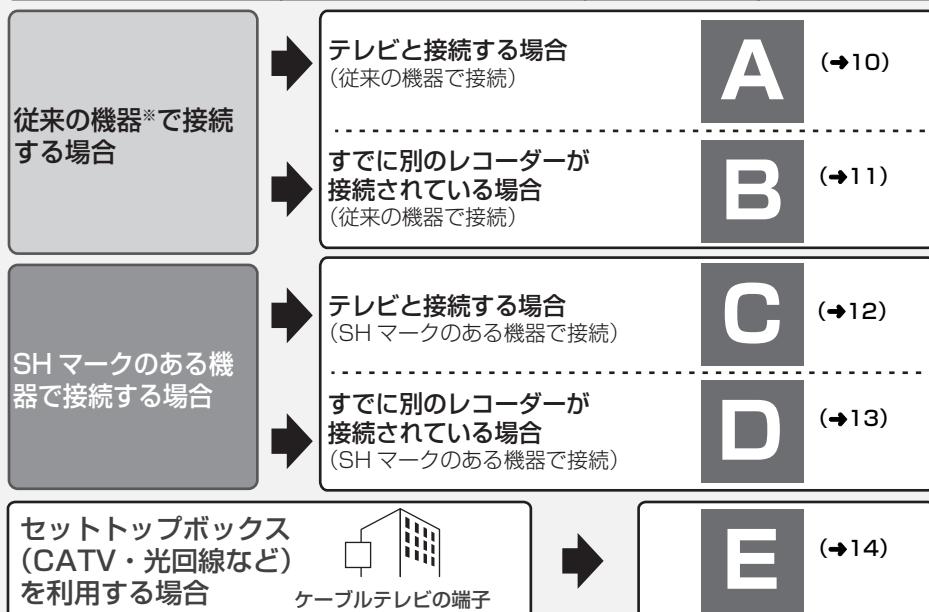
\* 録画用 USB-HDD、写真・音楽用 USB-HDD、SeeQVault 対応 USB-HDD を接続する場合は、この端子に接続してください。

# 接続の前に

本機は「BS4K/110度CS4K放送」の視聴や録画をすることができます。(下記の表に記載の放送局名は変更される場合があります)

- 従来の BS・CS デジタルアンテナ(右旋円偏波対応)に本機を接続することで、4K 放送が楽しめます。
- さらに多くのチャンネルを視聴する場合は、「SH マーク」対応の BS・CS デジタルアンテナ(左旋円偏波対応)や接続機器などが必要です。詳しくはお買い上げの販売店へご相談ください。

受信できる BS4K/110度 CS4K放送		NHK BS4K	BS朝日4K	左記以外の BS4K放送	スカパー!などの 110度CS4K放送
接続する機器	接続する機器	BSフジ4K	BS-TBS4K		
従来の機器*で接続する場合		○ (受信可)		×	○ (受信不可)
SHマークのある機器で接続する場合		○ (受信可)		○ (受信可)	○ (受信可)



\* 従来の機器：従来ご使用の BS・110度CS デジタル放送を受信できる環境(アンテナ、分配器、分波器など)

## お知らせ

- 本機では8K放送は受信できません。
- アンテナケーブルを接続する場合は、アンテナプラグが外れないようにF型接栓をご使用になることをお勧めします。
- F型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付け過ぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
- 分配器を使って本機とテレビにBS・CSデジタルアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。
- 接続状態により、分波器や分配器、専用のブースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。



混合している複数の電波を BS・CS と UHF・VHF に分波します。



電波を本機とテレビなど複数の機器に分配します。

- HDMIケーブルが端子から外れないようにしっかりと接続してください。

☞ テレビに本機の映像が映らない場合は（→16）

**本機とテレビとの接続には、HDMIケーブル（別売）が必要です。接続するテレビに合わせてHDMIケーブルをご準備ください。当社製HDMIケーブルはパナソニック製品取扱店でお買い求めいただけます。**

- 4K/60pをお楽しみになりたい場合は、18 Gbps 対応のHDMIケーブルが必要です。
- 上記以外の場合は、「ハイスピードHDMIケーブル」をお買い求めください。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

## ACASチップとACAS番号について

**本機はデジタル放送を受信するためのACASチップを内蔵しています。  
そのため、従来機器のようなB-CASカードの挿入は不要です。**

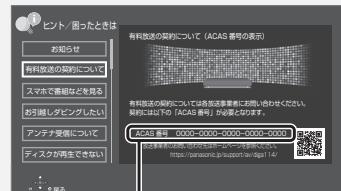
- 本機は、高精細な映像コンテンツを保護するため、ACASチップ<sup>\*</sup>を内蔵しています。（B-CASカードは同梱していません）
- ※ ACASチップにはACAS番号（20桁）が書き込まれています。NHKの受信契約メッセージ消去や有料放送を視聴するには、ACAS番号が必要です。ACAS番号をご確認のうえ、保証とアフターサービス（→36）の記入欄にメモしておいてください。
- 本機を譲渡または廃棄される場合には、ご契約先のNHKや有料放送に解除または変更連絡をしてください。

### ACAS番号を確認するには

以下の手順で確認することができます。確認は接続と設定終了後に行なうことができます。

① ホーム を押す

② データ を押す



ACAS番号

# 接続 1 テレビやアンテナと接続する

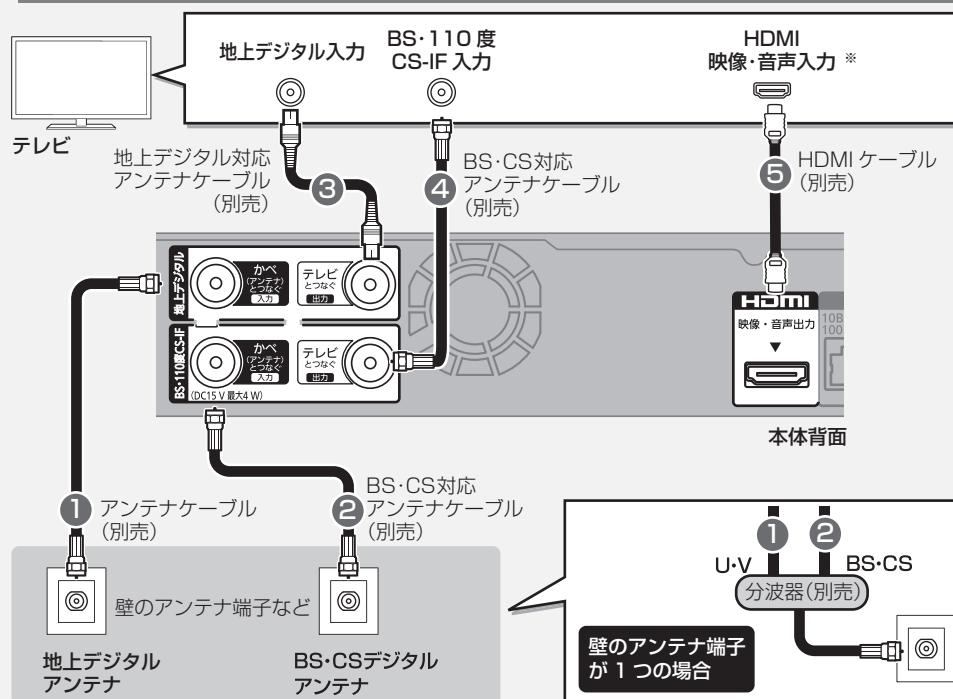
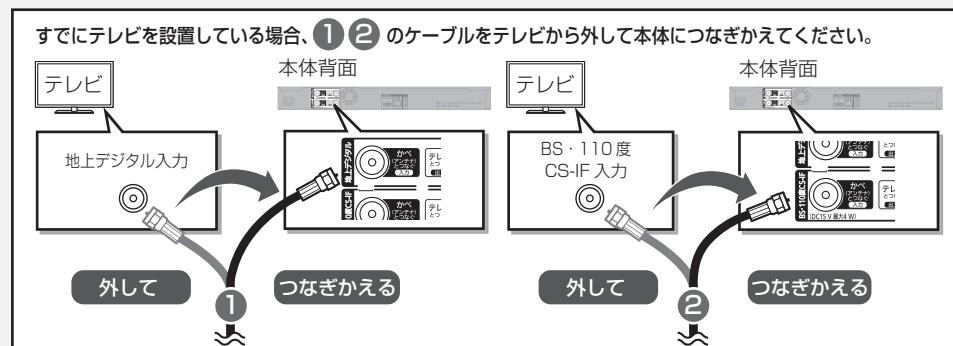
A

## テレビと接続する場合（従来の機器で接続）

①～⑤のケーブルを接続してください。  
(BS・CS を視聴しない場合、②④の接続は不要です)

BS4K/110度 CS4K 放送は、下記接続では一部の放送局しか受信できません。

すべての放送局を受信したい場合は C (→12) の接続をしてください。



\* 4K 出力するには、4K 対応テレビの HDMI 端子に接続してください。

**B**

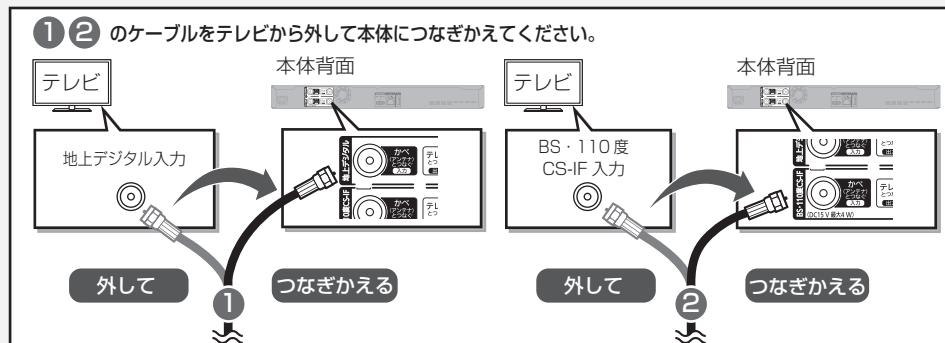
## すでに別のレコーダーが接続されている場合（従来の機器で接続）

①～⑤のケーブルを接続してください。

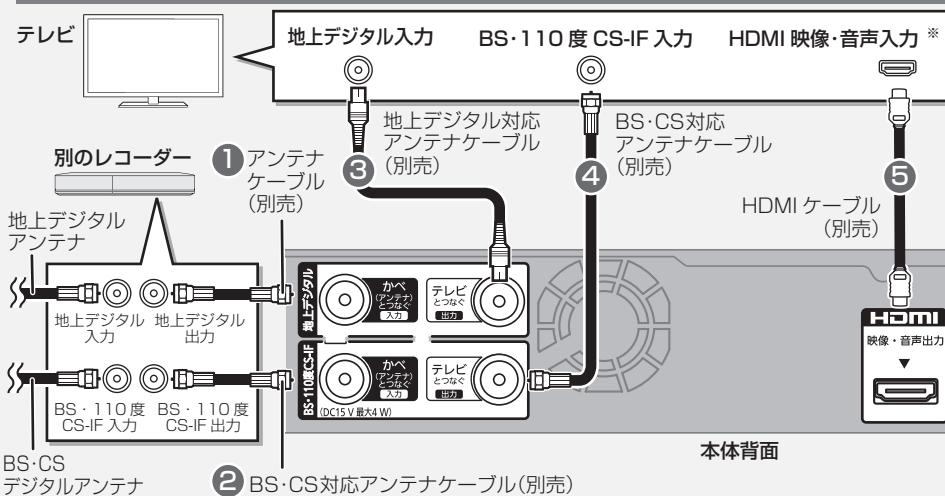
(別のレコーダーからテレビに接続している HDMI ケーブルは接続したままにしてください)

BS4K/110 度 CS4K 放送は、下記接続では一部の放送局しか受信できません。

すべての放送局を受信したい場合は **D** (→13) の接続をしてください。



接続と設定を行なう



### 上記の接続で映像が乱れる場合

アンテナレベルが不足しているなどでテレビの映像が乱れるときがあります。  
その場合は、下記のようにアンテナ接続をしてください。



\* 4K 出力するには、4K 対応テレビの HDMI 端子に接続してください。

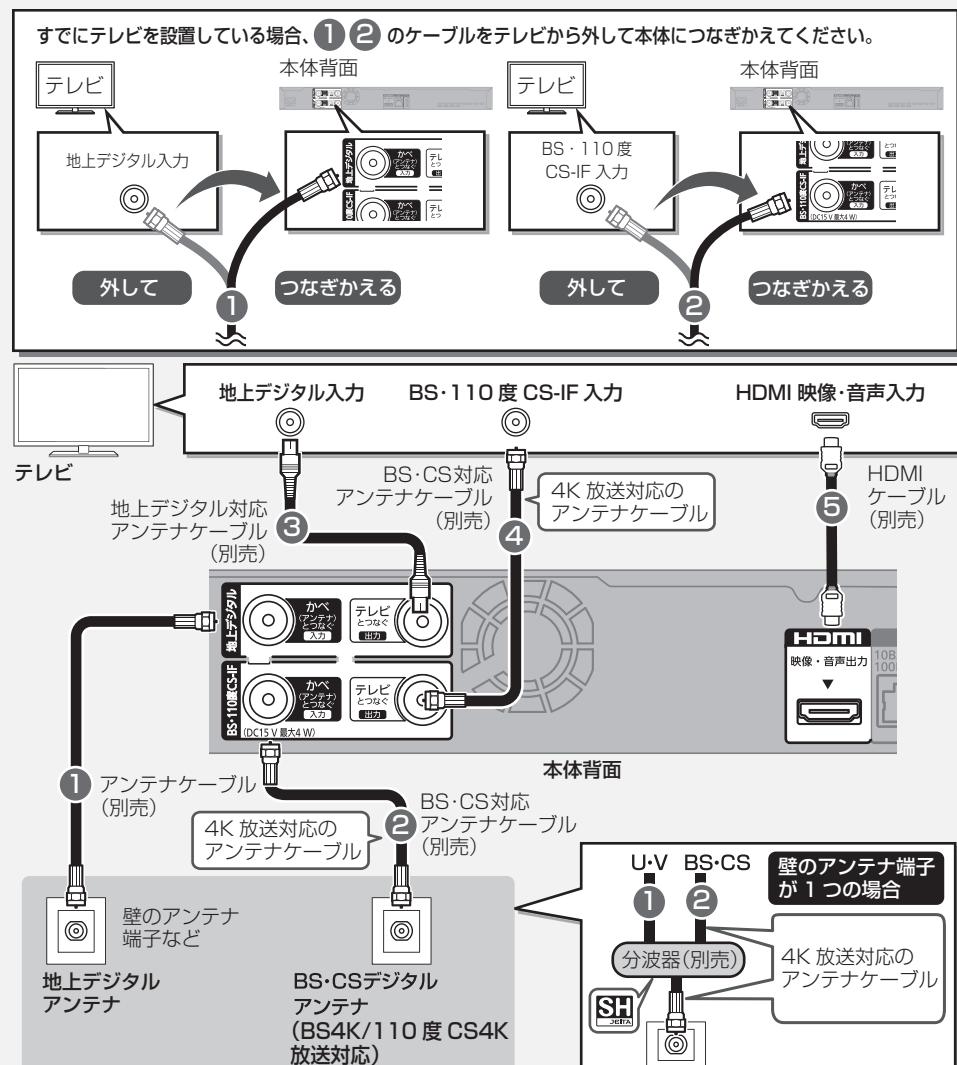
# 接続① テレビやアンテナと接続する（続き）

C

## テレビと接続する場合（SHマークのある機器で接続）

①～⑤のケーブルを接続してください。

A の接続ではBS4K/110度CS4K放送は一部の放送局しか受信できません。すべての放送局を受信したい場合は下記の接続をしてください。本機で8K放送を受信することはできません。



• BS4K/110度CS4K放送を受信するためには、SHマーク（SH JETTA）の付いている接続機器をご使用ください。

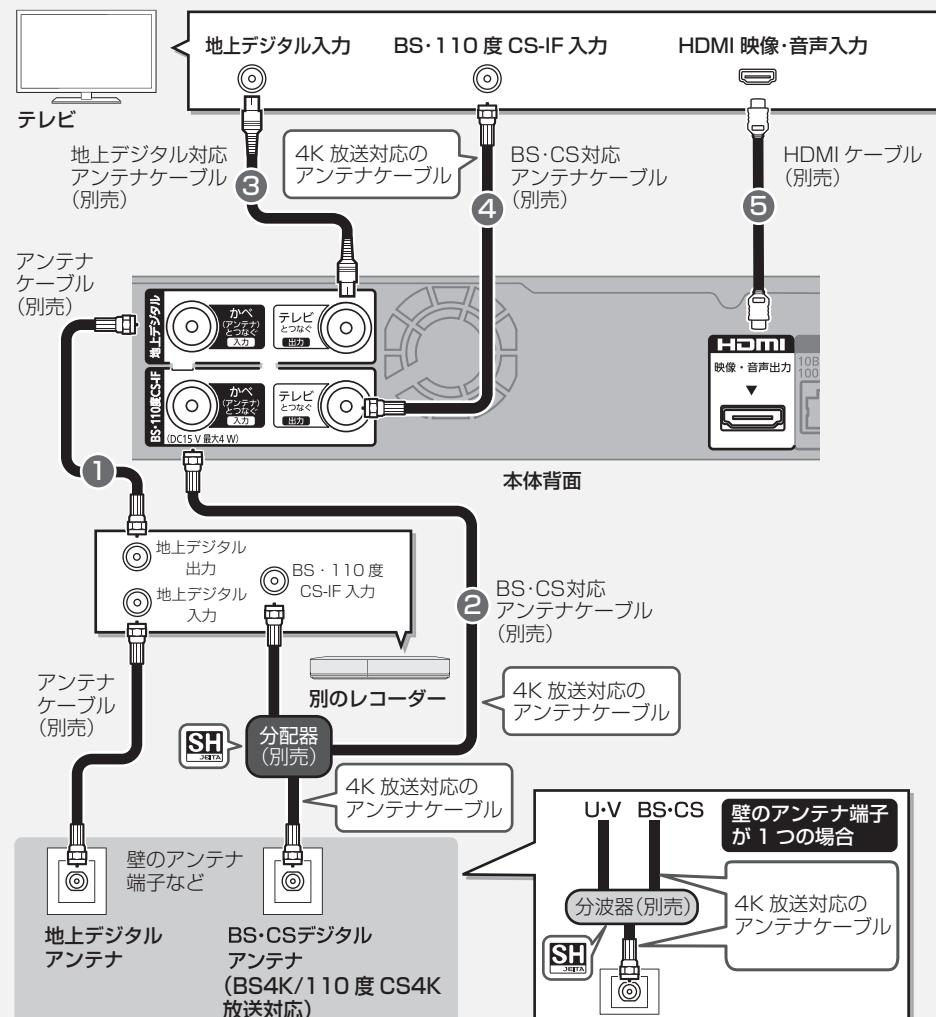


## すでに別のレコーダーが接続されている場合 (SH マークのある機器で接続)

①～⑤のケーブルを接続してください。

(別のレコーダーからテレビに接続している HDMI ケーブルは接続したままにしてください)

**B** の接続では BS4K/110 度 CS4K 放送は一部の放送局しか受信できません。すべての放送局を受信したい場合は下記の接続をしてください。本機で 8K 放送を受信することはできません。



- BS4K/110 度 CS4K 放送を受信するためには、SH マーク (  ) の付いている接続機器をご使用ください。

# 接続① テレビやアンテナと接続する（続き）

## E

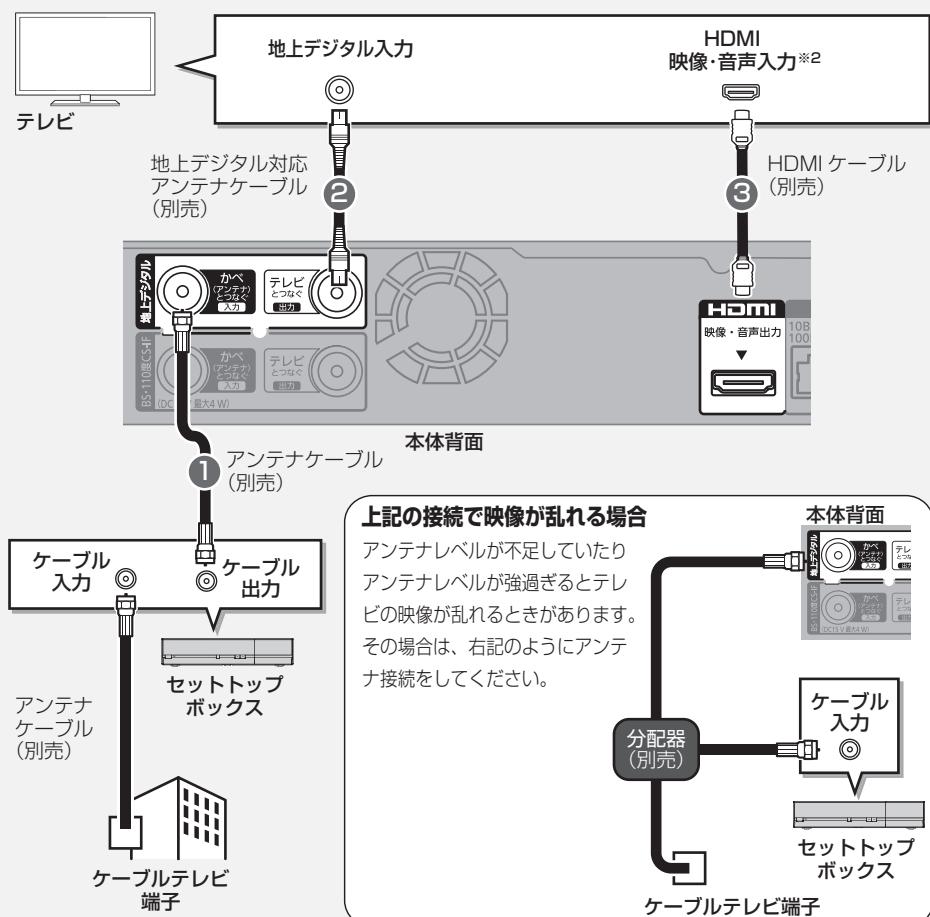
### セットトップボックス（CATV・光回線など）を利用する場合

①～③のケーブルを接続してください。

CATV の接続方法や、受信できる放送はさまざまです。詳しくはご契約の CATV 会社にご相談ください。

このページでは、CATV の地上デジタル放送の信号方式が「パススルー方式<sup>\*1</sup>」の場合の接続を紹介しています。  
受信する放送が「パススルー方式」でない場合や、「パススルー方式」でも本機で受信できない放送を視聴や録画するためには、「CATV（ケーブルテレビ）から録画する」（➡ 活用ガイド）をご覧ください。

<sup>\*1</sup> CATV会社がデジタル放送を再送信する伝送方式です。セットトップボックスを経由せず本機で直接受信できます。



<sup>\*2</sup> 4K 出力するには、4K 対応テレビの HDMI 端子に接続してください。

## 接続2 ネットワーク接続の準備をする

必要に応じて

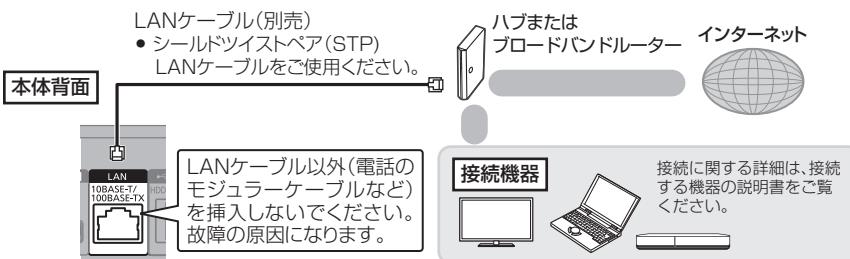
本機をネットワークに接続すると、さまざまなサービスや機能を利用することができます。

ご家庭のネットワーク環境に合わせて、接続と、ネットワーク設定を行ってください。(→17)

本機は、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ずルーターなどを経由して接続してください。

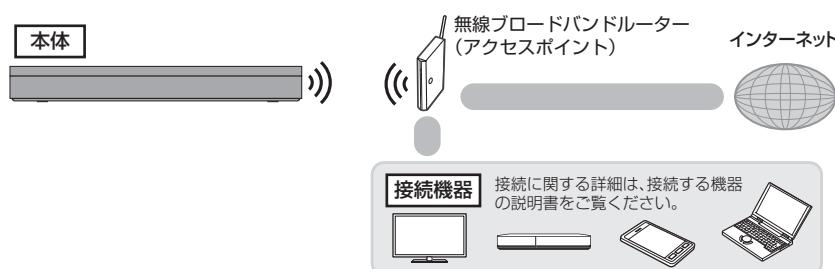
### ハブまたはブロードバンドルーターを使って接続する

接続と設定を行なう



- 接続機器とルーターは、LANケーブルまたは無線LANで接続してください。
- 有線LANで公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備（有線LANルーター、回線端末装置）に接続してください。

### 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）を使って接続する



接続機器とルーターは、LANケーブルまたは無線LANで接続してください。

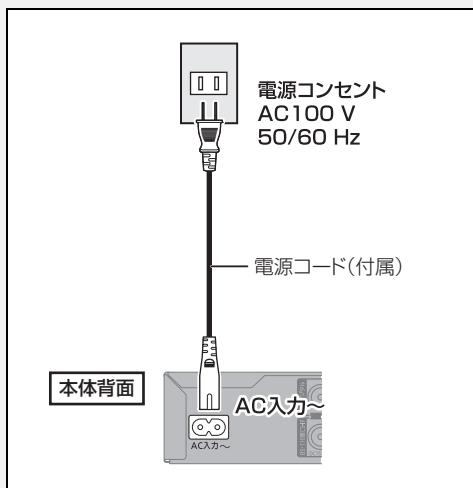
#### お知らせ

- 無線LANをご使用時は、LANケーブル（有線）での使用はできません。
- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）は802.11acまたは802.11n(2.4GHz/5GHz同時使用可)のものをお選びください。5GHzでのご使用をお勧めします。2.4GHzで電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）については、下記サポートサイトでご確認ください。  
<https://panasonic.com/jp/support/recorder/>
- スカパー！プレミアムサービス対応チューナーやCATVセットトップボックスは、安定した録画を実行するために、LANケーブルを使って接続してください。（→上記）

以下の接続については、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください。(活用ガイド参照方法は→表紙)  
・ネットワーク接続の準備をする（各機器と直接接続する）

### 接続③ 電源コードを接続する

すべての接続が終わったらあと、  
接続してください。



#### ☞ 本機の移動などで電源プラグを抜くとき

- ① 電源を切る  
(本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ)
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ HDD の回転が完全に止まってから(3分程度待ってから)、振動や衝撃を与えないように動かす  
(電源を切っても、HDD はしばらくの間は慣性で回転しています)

#### ☞ 長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

(消費電力：待機時 → 33)

- 電源コードを抜いている場合：
  - ・自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得はできません。
  - ・テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

### 困ったときには

#### テレビに本機の映像が映らない

- 本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル(別売)が必要です。
- テレビの入力を確認してください。
- 本機およびテレビ側の HDMI 端子、HDMI ケーブルのほこりを取り除き、しっかりと接続し直してください。
- 本機およびテレビの主電源を入れ直してください。
- 安定した映像をご覧いただくためには、18 Gbps 対応の HDMI ケーブルをお使いください。

詳しくは下記サポートページをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/av/diga706/>



#### テレビ放送が映らない／映りが悪い

- 地上デジタルと BS・CS のアンテナ端子を逆に接続していないか確認してください。
- 本機および接続機器とのアンテナ端子の入力と出力が間違っていないか確認してください。

詳しくは下記サポートページをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/av/diga711/>



# 設定 かんたん設置設定をする

初めて電源を入れたときに、かんたん設置設定を行います。

## 1 テレビの電源を入れる

## 2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

- ・本機をHDMIで接続した入力に切り換えてください。

## 3 本機のリモコンの を押す

## 4 画面の指示に従って設定をする

### お知らせ

- ・本体表示窓に「SETUP」が表示されている状態で、テレビに映像が映らない場合は（→16）

## リモコンの設定

### リモコンモードの設定

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。

このときは、リモコンモードを変えてください。（→活用ガイド）

### リモコンのテレビ操作設定

テレビに合った番号を設定すると、リモコンの【テレビ電源】、【テレビ入力切換】、【音量+,-】、【消音】でテレビを操作できます。

また、【テレビ操作】を押してボタンを点灯させると、他のボタンでもテレビを操作できるようになります。（→活用ガイド）

## ネットワーク設定

### 有線 LAN で接続する場合

有線 LAN ケーブルで接続する場合は、背面の LAN 端子に接続してから設定してください。

- ・シールドツイストペア（STP）LAN ケーブルをご使用ください。

「有線 LAN でネットワーク接続する」を選び、 を押す

### 無線 LAN で接続する場合

- ① 「無線 LAN でネットワーク接続する」を選び、 を押す

- ② 接続方法を選び、 を押す

#### ■ 「無線ネットワーク検索」を選んだ場合

- ③ 接続したい機器を選び、 を押す

- ④ 暗号化キーを入力する

- ・入力する暗号化キーは、接続する機器の説明書などでご確認ください。



#### ■ 「WPS（プッシュボタン）方式」を選んだ場合

- ③ 無線プロードバンドルーター（無線 LAN アクセスポイント）の WPS ボタンを押す
- ・操作方法は接続する機器の説明書などでご確認ください。

- ④  を押す

### お知らせ

- ・無線設定の画面で「電波状態」のインジケーターが4つ以上（受信レベル 30 以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線プロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかをお確かめください。

☞ 設定終了後にネットワーク設定をやり直すには（→19）

## チャンネル設定

ピエラリンク（HDMI）Ver.2以降に対応した当社製テレビと接続している場合、テレビから設置情報を取得します。テレビから設置情報を取得できない場合、画面の指示に従ってチャンネル設定を行ってください。

☞ 商品登録を行う場合（→裏表紙）

# ホーム画面から機能を選ぶ

本機で使用する主な機能はホーム画面から選ぶことができます。

## 1 ホーム を押す

## 2 項目を選び、決定 を押す

- ホーム画面は3つのページに分かれています。リモコンの[◀][▶]を数回押してページを切り換えてください。
- 機能を選ぶと、その機能の説明が表示されます。



例)

「ヒント／困ったときは」	本機の便利な使い方やよくあるご質問が表示されます。 ご使用時に困ったことなどがありましたらご覧ください。
「設定」	本機の設定（放送設定／HDMI接続設定／ネットワーク設定／メール・情報／機器設定・診断コード）を変更や確認することができます。（→19）
「見る」 → 「録画一覧」	録画した番組を一覧から選んで視聴できます。 録画した番組の視聴・消去・編集・ダビングができます。 <b>「録画一覧」など各機能について詳しくは活用ガイドをお読みください。</b>
「お引越しダビング」	今までご使用の機器がお引越しダビングに対応している場合、本機へ番組をダビングすることができます。 お引越しダビングの使い方や、対応機器についてはサポートサイトをご参照ください。

# 設定を変える

1 ホーム を押す

2 「設定」を選び、決定 を押す

3 変更したい項目を選び、決定 を押す



4 設定項目を選び、設定内容を変更する

詳細な設定は、「取扱説明書 活用ガイド」  
(PDF形式)をご覧ください。  
(活用ガイド参照方法は→表紙)

## 受信アンテナ設定をする

マンションなどの共同アンテナやCATVをご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

●アンテナレベルの入力レベルは以下の数値が目安となります。

- 地上デジタル：44以上
- 衛星：54以上

●アンテナの説明書もご覧ください。

「放送設定」→「放送受信設定」の「受信アンテナ設定」を選んだあと

① 修正したい放送を選び、決定 を押す

② アンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

●「衛星」の場合、「アンテナ電源」を「入」にしてください。

## 受信チャンネルを修正する

「放送設定」→「放送受信設定」の「チャンネル設定」を選んだあと

修正したい放送を選び、決定 を押す

地上デジタルの場合：修正する方法を選んでください。

### 地上デジタル 初期スキャン

引っ越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。

### 地上デジタル 再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

### 地上デジタル マニュアル

### BS, CS, BS/CS4K

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

地上デジタルチャンネル設定		チャンネル名	種類
Po	CH		
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	---	---	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po：「1」～「12」の表示はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)

●「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼]を押してください。

CH：テレビ画面や本体表示窓に表示される番号です。「——」の場合、チャンネル設定されていません。

③ 放送局名が表示されない場合は

再度「放送設定」→「かんたん受信設定」を行ってください。

### お知らせ

#### ■ 設定リセット

●すべての設定リセット

日時設定以外の設定をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)や予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合や、「故障かな!」(→29)に記載された対応以外には、実行しないでください。

画面説明

設定・視聴・録画

# テレビ放送を見る / 放送中の番組を録画する

本機のチューナーを使用してテレビ放送を視聴します。

1 地上 BS CS 4K を押す

2 ① ~ ⑫ または ▲ ▼ を押して、  
チャンネルを選ぶ

## 番組表から選局

① 選局表 を押す

② 放送中の番組を選び、決定 を押す

③ 「今すぐ見る」を選び、決定 を押す

お知らせ

・番組表に 8K 放送の放送局も表示される場合がありますが、本機で視聴することはできません。

## 3 術チャンネル番号を入力して選局

① テレビ視聴中に、3桁入力 録画 を押す

② ① ~ ⑩ を押して、チャンネルを入力する

## お好みチャンネルから選局

テレビ視聴中に、お好みチャンネル 10秒戻し を押す

## データ放送を見る

- ・本機では、データ放送を録画できません。
- ・情報サービスを利用するには、ネットワークの接続と設定が必要な場合があります。(→15、17)

データ放送のある番組を選局し、データ を押す

データ画面を消すには  
[データ①] を押す

## 番組視聴中の便利な機能

### 見ている番組の情報を表示する

番組表示 を押す

### 音声の切り替えや字幕の表示をする

音声 または 字幕 を押す

## 放送内容などの設定

信号切換などの設定を行うことができます。

① テレビ視聴中に、メニュー を押す

② 「デジタル放送メニュー」を選び、決定 を押す

## 放送中の番組を録画する

HDD HDD にのみ録画できます。

左記手順2のあと

3 録画モード を押す

4 録画モードを選び、決定 を押す

5 ワンタッチ予約 録画 を押す

6 録画の終了方法を選び、決定 を押す

・4K 放送は、いったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。

・予約録画が始まり、複数の番組を録画できない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。

## 録画を止める

■停止 を押す

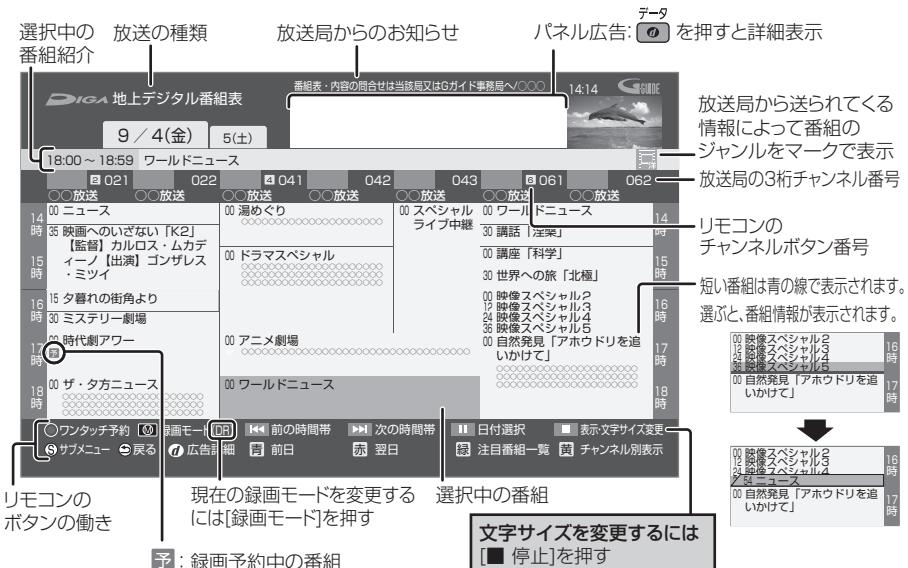
# 予約録画する

## 番組表 (G ガイド) を使って予約録画する

- **HDD** | **BD-RE** | **BD-R** | **USB-HDD** (録画用フォーマット) に予約録画できます。
- ディスクへは、DR モードで 1 番組のみ予約できます。  
(4K 放送は予約録画できません /DVD には予約録画できません)
- お買い上げ直後は、すべての番組表の情報が表示されません。番組表のデータ取得には 1 日程度時間がかかる場合があります。
- 4K 放送の予約録画には下記の制限があります。
  - HDD と USB3.0 対応の USB-HDD にのみ予約できます。
  - 4K 放送の予約録画は最大 1 番組まで録画できます。
  - 4K 画質モードで録画する場合、いったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
  - 1.5 ~ 15 倍速モードで録画できません。

1  を押す

2 番組を選ぶ



3  を押す

- [決定] の代わりに [ワンタッチ予約 録画 ●] を押すと、簡単に予約を完了できます。(予 が表示されます)

4 「番組予約へ」を選び、 を押す

5 項目を選び、 を押す

- 予約済みの番組を重複して予約することはできません。

- 予約内容の確認や取り消し、修正などを行う場合は、[予約確認] を押して番組を選んで操作してください。(→活用ガイド)

# 予約録画する（続き）

## 録画 / 予約録画に関するお知らせ

本機は録画する放送によって選択できる録画モードが異なります。

### 4K 放送録画時の録画モード

録画モード	4KDR	4K 1.3倍録から 4K 8~12倍録	1.5~15倍録
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	4K画質 放送データを圧縮（映像圧縮方式：HEVC/H.265）して、4K画質で長時間記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮（映像圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264）して、ハイビジョン画質で長時間記録
記録できるメディア	HDD BD-RE <sup>*1</sup> BD-R <sup>*2</sup> USB-HDD <sup>*3</sup>	HDD BD-RE <sup>*1</sup> BD-R <sup>*1</sup> USB-HDD <sup>*3</sup>	HDD <sup>*2</sup> BD-RE <sup>*1</sup> BD-R <sup>*1</sup> -R AVCREC <sup>*4</sup> USB-HDD <sup>*1</sup> <sup>*2</sup>
サラウンドの音声	サラウンド音声	サラウンド音声 <sup>*3</sup>	ステレオ音声
複数の音声	複数の音声をすべて記録	音声は2つまで記録 <sup>*4</sup>	音声は1つだけ記録 <sup>*4</sup>
二重音声	両方の音声を記録		
字幕情報	字幕の入/切情報を含めて記録 (再生時、字幕表示の入/切ができる)		字幕の入/切情報を記録しない。再生時、字幕表示の入/切はできない <sup>*4</sup>

### おまかせ長時間「4K 8~12倍録」モードについて

「4K 8~12倍録」モードは、番組の内容に応じて録画倍率を8倍録から12倍録まで自動調整して録画します。スポーツや音楽など動きが激しい映像では、録画倍率が8倍相当になるため、画面に表示している記録可能時間よりも実際に記録できる時間が短くなることがあります。

### デジタル放送録画時の録画モード

録画モード	DR	1.5~15倍録	XP・SP・LP	FR
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮（映像圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264）して、ハイビジョン画質で長時間記録	DVD画質 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	DVD画質 ディスクの残量に合わせてXP～LPの中で画質を自動調整して記録 <sup>*5</sup>
記録できるメディア	HDD BD-RE BD-R USB-HDD	HDD BD-RE <sup>*6</sup> BD-R <sup>*6</sup> -R AVCREC <sup>*6</sup> USB-HDD	-R VR <sup>*6</sup> -R V <sup>*6</sup> <sup>*7</sup> -RW VR <sup>*6</sup> -RW V <sup>*6</sup> <sup>*7</sup>	
サラウンドの音声	サラウンド音声		ステレオ音声 (ダウニミックス2チャンネル)	
複数の音声	複数の音声をすべて記録	音声は2つまで記録 <sup>*4</sup> <sup>*8</sup>	音声は1つだけ記録 <sup>*4</sup>	
二重音声	両方の音声を記録			
字幕情報	字幕の入/切情報を含めて記録 (再生時、字幕表示の入/切ができる)		字幕の入/切情報を記録しない (再生時、字幕表示の入/切はできない) <sup>*4</sup>	

\*1 4K放送をディスクやUSB3.0非対応のUSB-HDDへ記録する場合、ダビング時のみ可能です。

\*2 4K放送をHDDやUSB3.0対応のUSB-HDDへ記録する場合、録画モード変換時のみ可能です。

\*3 AAC22.2chやAAC7.1chを記録するには、設定の「4K画質の音声ch数優先」を「入」に設定してください。詳細は以下のサポートページをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/av/digital18/>

\*4 記録したい音声、字幕表示の入/切などの内容を選びたい場合、記録前に以下の設定をしてください。

・録画時：「デジタル放送メニュー」(→20)の「信号切換」で選ぶ

・予約録画時：詳細設定の「信号設定」(→活用ガイド)で選ぶ

・ダビング時：「再生設定」(→活用ガイド「再生設定をする」)の「信号切換」で選んだあと、ダビングを行う

\*5 番組の時間が少くとも、ディスク残量がなくなる場合があります。

\*6 ディスクへの記録はダビング時のみ可能です。

\*7 [-R V] [-RW V] デジタル放送のコピー制限のある番組は記録できません。

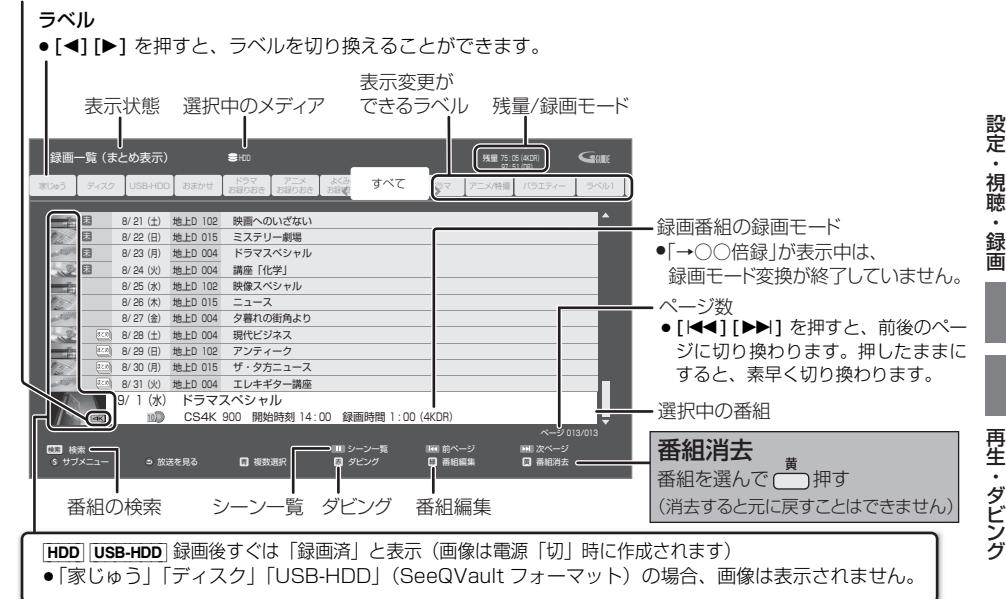
\*8 15倍録モードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなることがあります。

# 録画した番組の再生・消去・ダビング

## 再生する

[HDD] [BD-RE] [BD-R] [RAM] [R] [RW] [USB-HDD] (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

4K 放送を 4KDR モード、4K 画質モードで録画した番組には  が表示されます。



ラベル

- [] [] を押すと、ラベルを切り換えることができます。

表示状態 選択中のメディア 表示変更ができるラベル 残量/録画モード

録画一覧 (まとめ表示) HDD すべて 録画番組の録画モード  
• 「→○○倍録」が表示中は、録画モード変換が終了していません。

ページ数  
• [] [] を押すと、前後のページに切り替わります。押したままにすると、素早く切り替わります。

選択中の番組  
番組消去 番組を選んで  押す  
(消去すると元に戻すことはできません)

HDD [USB-HDD] 録画後すぐには「録画済」と表示(画像は電源「切」時に作成されます)  
• 「家じゅう」「ディスク」「USB-HDD」(SeeQVault フォーマット)の場合、画像は表示されません。

## 1 を押す

## 2 録画一覧から番組を選び、 を押す

-  番組を選んで、[決定] を押すと、 番組内の番組を表示できます。

## ゆっくり再生 (0.8 倍速)

再生速度を落とし、音声を聴き取りやすくなります。

### 再生中 を押す

• もう一度 [] を押すと、元の速度に戻ります。

### お知らせ

• 4KDR モード、4K 画質モードの番組、Ultra HD ブルーレイは、ゆっくり再生ができません。

## プレビューサーチ

[HDD] [USB-HDD] (録画用フォーマット)

録画番組の気になるシーンを探して見ることができます。

- ① 再生中に  を押す

- ②  で再生したい位置の画像を選び、 を押す

### お知らせ

- 編集した録画番組やダビングした番組は、シーン画像が未作成の場合があります。
- 本機の動作状態によって、シーン画像が未作成の場合があります。

- 写真や動画、音楽を楽しむ場合は「活用ガイド」をご覧ください。
- 録画した番組を編集したい時は「活用ガイド」の「番組を消去する / 編集する」をご覧ください。

# 録画した番組の再生・消去・ダビング（続き）

## 番組をダビングする（かんたんダビング）

ダビング方向：[HDD] → [BD-RE] [BD-R] [R] [RW]

HDDにある番組をディスクにダビングします。

- 4KDR モードまたは 4K 画質モードでダビングする場合は、[BD-RE] [BD-R] を使用してください。

1 [ホーム] を押す

2 「残す」を選び、[決定] を押す

3 「かんたんダビング」を選び、[決定] を押す

4 かんたんダビング一覧から番組を選び、  
[決定] を押す

5 「番組選択完了」を選び、[決定] を押す

6 「ダビング開始」を選び、[決定] を押す

7 「はい」を選び、[決定] を押す

新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットします。

### お知らせ

- 「DVD 画質」で未フォーマットの [R] [RW] にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
  - ・ [10]～[10] の番組が含まれている場合：VR 方式
  - ・ [10]～[10] の番組が含まれていない場合：ビデオ方式
- 1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。
- 4KDR モード、4K 画質モードの番組とそれ以外の番組を同じディスクにダビングすることはできます。
- プロテクト設定されている [10] の番組はダビングできません。
- ダビング中に電源を切ることはできません。
- 録画モードを「4K 4.5 倍録」から「4K 8~12 倍録」に設定して、[BD-RE] [BD-R] に画質変更ダビングすることはできません。いったん「録画モード変換」（→活用ガイド「番組を消去する／編集する→録画モード変換」）で「4K 4.5 倍録」から「4K 8~12 倍録」に変換したあと、高速ダビングしてください。

## お引越しダビング

お引越しダビングに対応したディーガや他社製レコーダーなどとネットワーク接続（→17）すると、番組をダビングすることができます。

- 対応機器については、当社ホームページ（→2）をご覧ください。

• 本機は 4KDR モード、4K 画質モードの番組のお引越しダビングに対応しています。4KDR モード、4K 画質モードの番組のお引越しダビングは、ダビング元とダビング先の両方の機器が対応している必要があります。

- お引越しダビング非対応のディーガの場合、お引越しダビングは利用できません。その場合は、BD-RE などのディスクにダビングしたうえで本機にダビングしてください。

• 写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット対応のディーガから写真を移動するときは、写真・音楽用フォーマットされた USB-HDD を使用して写真を移動することができます。

- ダビング元の「お部屋ジャンプリンク／スカパー！Link（録画）設定」を「入」にして使用してください。

接続する機器によっては、手順が異なる場合があります。その場合は画面の指示に従ってください。

1 [ホーム] を押す

2 「お引越しダビング」を選び、[決定] を押す

3 画面に従って操作する

電源「切」時にダビングが実行されます。予約録画の設定がされていない時間帯にダビングを行います。

- ダビング中に電源を入れると、ダビングを中断し、次に電源を切ると、ダビングを再開します。

### お知らせ

- 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD からはダビングできません。
- 1 回に複数選択できる番組は 99 個までです。
- 以下の番組はダビングできません。
  - ・ プロテクト設定されている [10] の表示がある番組
  - ・ ダビングする番組を選択したあと、ダビングが実行される前に「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」「録画モード変換」「チャプター消去」の編集や、番組の複製をした番組
  - ・ XP, SP, LP, FR モードの番組
- [10] の表示がある番組は「残す」「残さない」の設定にかかわらず、ダビング元からは消去されます。
- [10]～[10] の表示がある番組は、ダビング先で「1 回だけダビング可能」の番組になります。
- ダビング元の番組データ容量や通信速度によっては、ダビング完了までに数日かかる場合があります。
- 他社製レコーダーの場合、「まとめ表示へ」や「全番組表示へ」の切り替えはできません。また、ダビングの残り回数（[10]～[10]）は表示されません。
- ダビング元の写真は削除されません。

# 同時操作について

以下の表では、できる操作を「○」、できない操作を「×」で記載しています。

## 録画 / 予約録画中の同時操作

録画状態			再生				HDDの編集 <sup>*1</sup>	かんたんダビング	
放送 / 入力	録画先	録画モード	HDD・USB-HDDの番組	録画ディスク	BDビデオ・AVCHD	DVDビデオ		ファイナライズ切	ファイナライズ入
BS4K CS4K	HDD(1番組録画)	4KDR 4K画質モード	○	○	○	○	○	○	×
	USB3.0対応のUSB-HDD <sup>*2</sup>		○ <sup>*3</sup>	○	○	○	○ <sup>*3</sup>	×	×
地上D BS CS	HDD(1番組録画)	DR 1.5～15倍録	○ <sup>*4</sup>	○ <sup>*4</sup>	○ <sup>*5</sup>	○	○ <sup>*4</sup>	○	×
	HDD(2番組録画)		○ <sup>*4</sup>	○ <sup>*4</sup>	○ <sup>*5*6</sup>	○	○ <sup>*4</sup>	○ <sup>*6</sup>	×
	HDD(3番組録画)		○ <sup>*4*6</sup>	○ <sup>*4*6</sup>	○ <sup>*5*6</sup>	○ <sup>*6</sup>	○ <sup>*4*6</sup>	○ <sup>*6</sup>	×
	BD	DR	○	×	×	×	○	×	×
	USB-HDD <sup>*2</sup>	DR 1.5～15倍録	○ <sup>*4</sup>	○ <sup>*4</sup>	○ <sup>*5</sup>	○	○ <sup>*4</sup>	×	×
スカパー! プレミアム サービス CATV (LAN録画)	HDD	—	○	○	×	○	○ <sup>*7</sup>	○ <sup>*8</sup>	×

●HDDの残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。

\*1 実行できる編集(→活用ガイド「番組を消去する / 編集する」)(スマホ転送番組の作成はできません)

\*2 録画用フォーマットのUSB-HDD使用時のみ予約録画できます。

\*3 USB3.0対応のUSB-HDDに3番組を録画中(そのうち4K放送を1番組録画)は、USB-HDDの4KDRモード、4K画質モードの番組の再生や編集はできません。

\*4 4KDRモード、4K画質モードの番組を再生すると、1.5倍録～15倍録で録画中の番組はDRモードに切り換えて録画を続けます。

\*5 Ultra HDブルーレイを再生すると、1.5倍録～15倍録で録画中の番組はDRモードに切り換えて録画を続けます。

\*6 1.5～15倍録で録画中の番組は、DRモードに切り換えて録画を続けます。

\*7 録画モード変換はできません。

\*8 画質変更ダビングはできません。

再生・ダビング

必要なとき

# 同時操作について（続き）

## ダビング中の同時操作

### 4K 放送の番組をダビング中の場合

ダビングの種類	視聴 放送中の 番組	予約録画 の実行	再生					HDD の 編集 <sup>*1</sup>
			HDD の 番組	録画 ディスク	BD ビデオ・ AVCHD	DVD ビデオ	USB- HDD	
4K 画質モードの番組をディスクへ高速ダビング中（ファイナライズ切）	○	○	○	×	×	×	×	○
4KDR モードの番組をディスクへ高速ダビング中（ファイナライズ切） 「4 KDR のダビング方式」が「ダビング方式 1」時	○	○	○	×	×	×	×	○
4KDR モードの番組をディスクへ高速ダビング中（ファイナライズ切） 「4 KDR のダビング方式」が「ダビング方式 2」時	×	○ <sup>*2</sup>	×	×	×	×	×	×
ディスクへ画質変更ダビング中（ファイナライズ切）	×	○ <sup>*2</sup>	×	×	×	×	×	×
ディスクへファイナライズ入でダビング中	×	×	×	×	×	×	×	×

● HDD 番組を複製中は、視聴や再生、編集ができます。

※1 実行できる編集（→活用ガイド「番組を消去する／編集する」）（録画モード変換、スマホ転送番組の作成はできません）

※2 スカパー！プレミアムサービスや CATV の番組の予約録画は実行できません。

### デジタル放送の番組をダビング中の場合

ダビングの種類	視聴 放送中の 番組	予約録画 の実行	再生					HDD の 編集 <sup>*1</sup>
			HDD の 番組	録画 ディスク	BD ビデオ・ AVCHD	DVD ビデオ	USB- HDD	
ディスクへ高速ダビング中（ファイナライズ切）	○	○	○	× <sup>*2</sup>	× <sup>*2</sup>	× <sup>*2</sup>	× <sup>*2</sup>	○
ディスクへ画質変更ダビング中（ファイナライズ切）	○ <sup>*3</sup>	○ <sup>*4</sup>	○ <sup>*5</sup>	×	×	×	×	○ <sup>*5</sup>
ディスクへファイナライズ入でダビング中	×	×	×	×	×	×	×	×
AVCHD 取り込み中	×	×	×	×	×	×	×	×
ネットワークを使ってダビング中	○	○	○	○	×	○	○	○

※1 実行できる編集（→活用ガイド「番組を消去する／編集する」）（録画モード変換、スマホ転送番組の作成はできません）

※2 HDD 番組を複製中は、再生できます。

※3 4K 放送番組の視聴はできません。

※4 スカパー！プレミアムサービスや CATV の番組の予約録画は実行できません。

※5 「4K」や「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D 再生できません。

## 本機を操作中のお部屋ジャンプリンクの同時操作

		クライアント側の操作（ビデオを見る / 放送を見る）				
1台目		ビデオ	放送	ビデオ	ビデオ	放送
2台目		-	-	ビデオ	放送	放送
HDD・録画ディスク再生中		○ <sup>*1</sup>	○ <sup>*1*2</sup>	○ <sup>*1</sup>	○ <sup>*1*2</sup>	○ <sup>*1*2</sup>
4KDR モード、4K 画質モードの番組を再生中		○ <sup>*3</sup>	×	○ <sup>*3</sup>	×	×
4K 放送を視聴中		○ <sup>*3</sup>	×	○ <sup>*3</sup>	×	×
DVD ビデオ再生中		○	○	○ <sup>*3</sup>	×	×
BD ビデオ・AVCHD 再生中		○ <sup>*3</sup>	○ <sup>*3</sup>	○ <sup>*3</sup>	×	×
HDD へ放送番組を 1 番組録画中		○	○	○	○	○ <sup>*4</sup>
HDD へ放送番組を複数番組録画中		○ <sup>*5</sup>	○ <sup>*5*6</sup>	○ <sup>*5</sup>	○ <sup>*5*6</sup>	×
LAN 経由で録画中		×	×	×	×	×
4KDR モード以外の番組をディスクに高速ダビング中		○ <sup>*5</sup>	○ <sup>*5</sup>	○ <sup>*5</sup>	○ <sup>*5</sup>	○ <sup>*5</sup>
4KDR モードの番組をディスクに高速ダビング中	「4 KDR のダビング方式」が「ダビング方式 1」時	○ <sup>*5</sup>	○ <sup>*5</sup>	○ <sup>*5</sup>	○ <sup>*5</sup>	○ <sup>*5</sup>
	「4 KDR のダビング方式」が「ダビング方式 2」時	○ <sup>*3*5</sup>	×	○ <sup>*3*5</sup>	×	×
番組をディスクに画質変更ダビング中		○ <sup>*3*5</sup>	×	○ <sup>*3*5</sup>	×	×
ネットワーク使用中		×	×	×	×	×

● 本機の状態によってはお部屋ジャンプリンクができない場合があります。

● 4K 放送の放送中の番組を見ることはできません。

※1 MP4 (4K) を再生中はお部屋ジャンプリンクはできません。

※2 本機側で「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組を再生中は、放送を見ることはできません。

※3 「お部屋ジャンプリンク／スカパー！Link（録画）設定」(→ 活用ガイド) の「通信／映像品質の設定」が「オート」または「モード 2」～「モード 5」の場合、お部屋ジャンプリンクができない場合があります。また、VGA 変換が必要な機器（ビエラワンセグなど）がクライアントの場合、お部屋ジャンプリンクができない場合があります。

※4 本機側が 4K 放送を録画中は 2 台目の機器で放送を見ることはできません。

※5 本機側で番組の再生が始まると、お部屋ジャンプリンクはできない場合があります。

※6 本機側が 3 番組録画中は放送を見ることはできません。

# よくあるご質問 / こんな表示が出たら

## 「ヒント／困ったときは」機能のご紹介

ホーム画面の「ヒント／困ったときは」を選択すると、本機の便利な使い方やよくあるご質問が表示されます。

記載の無い表示がされた場合はこちらからご確認ください。



表示文字	調べるところ・原因・対策
	<ul style="list-style-type: none"><li>オンエアーダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5などはダウンロードの進行状況です)</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>終了処理中です。“BYE”が表示されたあと、電源が切れます。</li><li>停電または動作中に電源コードが抜けたことによる復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>ネットワークからのダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5などは更新の進行状況です)</li></ul>
 1~6のいずれかを表示	<ul style="list-style-type: none"><li>本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。  表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を3秒以上押したままでください。</li><li>4~6の数字が表示されている場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。(リモコン下部に“IR6”的表示があるリモコンで操作できます)</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>アンテナ電源の異常です。アンテナケーブル内で芯線と編組線が接触(タッチ)していないか確認してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置してください。</li><li>背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔の周りを空けてください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されました。本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。</li></ul>
 	<ul style="list-style-type: none"><li>映像出力のエラーが発生しています。(→16)</li><li>HDMIケーブルが認識されていない場合があります。電源が「切」の状態で、HDMIケーブルを抜き、本機およびテレビ側のHDMI端子、HDMIケーブルのほこりを取り除き、しっかり奥まで接続し直したあと、もう一度電源を入れてください。</li><li>改善しない場合はHDMIケーブルを交換してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>本機で使用できないUSB機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。</li><li>USB機器接続時に異常が発生しました。接続したUSB機器をいったん本機から外して、接続し直してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されました。本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>本機が正常に動作しません。本体の[↓/I]を押し、電源を切り入してください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>異常が発生しました。(“F”または“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります。左図中の数字OOは例です)</li><li>本体の[↓/I]を3秒以上押して電源を切ったあと、再び電源を入れてください。</li></ul>

\* 上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

上記の操作をしても表示が消えない、症状が変わらない場合、お買い上げの販売店または「修理に関するご相談窓口」(→37)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などとお知らせください。

# 故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

「故障かな!?」の内容は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)も併せてご覧ください。  
(活用ガイド参照方法は→表紙)

当社ホームページ(→2)も併せてご覧ください。

## 本機が熱い

- 本機通電中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の左右および上部と背面にスペースを空けてください。

## 以下の動作音は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音(ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります)
- 以下の状態のときに、本機から動作音が聞こえる場合があります。
  - 電源切／入時
  - 番組表データを受信中
  - ソフトウェア更新中
  - 録画中
  - 写真や動画を自動で保存中
  - 予約録画終了時または午前4時ごろ(1週間に1回程度)の、本機全体の自動再起動時  
(本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています)

など

## 本機の操作ができなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。
  - 本体の[**△/I**]を押し、電源を切る
    - 切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。
  - 本体の[**△/I**]を押し、電源を入れる
    - (起動に時間がかかる場合があります)
- 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- リモコンが正しく働いていないことがあります。



[**△/I**]を  
3秒以上押す

(それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)

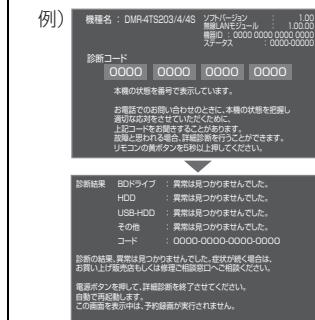
- 本体の[**△/I**]を押し、電源を入れる
  - (起動に時間がかかる場合があります)
- 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

リモコンが正しく働いていないことがあります。

## 診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、機器の状態を診断することができます。

- 【ホーム】ボタンを押し、「設定」→「機器設定」→「診断コード」→【黄】ボタンを5秒以上押して詳細診断を行ってください。



- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

## 録画できない/録画に失敗する/ 再生できない/操作できない/フリーズする

- 以下の場合、録画できません。本体表示窓の「録画」の「1」～「3」が点滅します。
  - アンテナが抜けている、またはアンテナレベルが低い
  - HDDの残量がない
- ディスクやUSB-HDDには[ワンタッチ予約 録画 ●]を押しても、録画できません。予約録画のみ可能です。
- 本体機器を設定リセット(→19)にて初期化することで改善する場合があります。  
ただし、設定リセットを行うことで、お客様の個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)や予約内容も消去されますので、ご注意ください。

## 予約をしていない番組が録画される

- 「おまかせ録画」(→活用ガイド「自動予約する→おまかせ録画する」)や「お録りおき録画」(→活用ガイド「自動予約する→お録りおき番組を自動で予約録画する」)の設定をしていると、本機は自動的に番組の録画をします。

必要なとき

# 故障かな!? (続き)

## 映像が映らない

- アンテナケーブルの接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。(→8~17)
- HDMI ケーブルが認識されていない場合があります。電源が「切」の状態で、HDMI ケーブルを抜き差したあと、もう一度電源を入れてください。
- 本体の [↓/I] を 3 秒以上押して、一度リセットしてください。
- 「設定」(→19) → 「放送設定」→ 「かんたん設置設定」を実行して、チャンネルを再スキャンしてください。
- 「テレビに本機の映像が映らない」(→16) をご覧ください。

## テレビ放送の映りが悪い / 不安定になる

- アンテナレベルが不足している場合があります。「設定」(→19) → 「放送設定」→ 「放送受信設定」にある、「受信アンテナ設定」内のアンテナレベルを確認してください。
  - 地上デジタル：44 以上が目安
  - 衛星：54 以上が目安
- 「テレビ放送が映らない／映りが悪い」(→16) をご覧ください。

## 110 度 CS4K 放送や一部の BS4K 放送が映らない

- 受信するためには、SH マーク対応の BS・CS デジタルアンテナが必要です。(→8)
- 接続方法をご確認ください。(→12、13)
- あとから対応アンテナを設置した場合は、再度「かんたん設置設定」を行ってください。(→17)

## ディスクが取り出せない

- 本機の故障が考えられます。  
電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
    - 本体の [↓/I] を 3 秒以上押す  
・本体の電源が切れます。
    - 【決定】と【青】と【黄】を同時に 5 秒以上押す  
・本体表示窓に “OO RET” が表示されます。
    - 本体表示窓に “06 FTO” が表示されるまで [▶] (リモコンの右ボタン) を押す
    - 【決定】を押す  
ディスクトレイが開くまでに時間がかかる場合があります。(約 30 秒)
- (ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差したあと、再度同様の操作を行ってください) ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

## リモコンが働かない

- 本体表示窓に「U30」が表示される場合は、リモコンモードを設定し直してください。(→28)
- リモコンでテレビ操作をできない場合は、以下のことを確認してください。
  - 【テレビ操作】が点灯していますか。
  - テレビのメーカー番号が異なっていますか。電池を交換すると、合わせ直す必要がでてくる場合があります。(→活用ガイド)

## USB 機器が認識しない

- USB 機器が正しく認識しない (USB 機器画面が表示されない) 場合は、USB 機器を抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。

## 地上デジタル放送の特定のチャンネルが映らない

- 「受信チャンネルを修正する」で「初期スキャン」の受信帯域を「全帯域」にして実行してください。(→19)

「このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。(\* \* \* \*)」の表示が出て番組を視聴できない

- (\* \* \* \*) の表示が (A103) または (8901) の場合は、ご視聴の放送事業者にお問い合わせください。
- (\* \* \* \*) の表示が (A103) または (8901) 以外の場合、本体の [↓/I] を 3 秒以上押して、一度リセットしてください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

## 損害について

本機の誤った使用、使用時に生じた故障、その他の不具合、本機の使用により受けられた損害については、法令上責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# 取り扱いについて

## 録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかつた場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

## 本機の温度上昇について

本機通電中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。  
底面などを触るときは、温度が高くなっている場合がありますのでお気をつけください。  
本機の移動やお手入れなどをするとときは、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。

## 個人情報について

- 本機にはお客様が撮影した写真や動画、ネットワーク機能で使用する機器IDや機器パスワードなどの個人情報が記録されます。
- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。

## 本機を廃棄／譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、お客様が撮影した写真や動画などが記録されている場合があります。  
廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「ネットワーク設定」（→活用ガイド）の「ディモーラ／使用情報の送信設定」で機器登録を解除してから、「HDD・USB-HDD・再生記録設定」（→活用ガイド）の「HDD設定」からHDDをフォーマットし、「設定リセット」（→19）の「すべての設定リセット」を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 製品を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。
- 本機を譲渡または廃棄される場合には、ご契約先のNHKや有料放送に解除または更新の連絡をしてください。

## 本機を修理依頼するとき

### HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。

HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

### USB-HDDに関するお願い

USB-HDDを録画用フォーマットでお使いになっていた場合、本機の修理過程においてUSB-HDDの登録が取り消される場合があります。

登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

## HDD（ハードディスク）・USB-HDD

### 振動・衝撃・磁気やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。  
特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

### 一時的な保管場所です

録画した内容や写真・動画・音楽の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

### 異常を感じたらすぐにダビング（バックアップ）を…

不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。  
このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

- HDDやUSB-HDDが故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

## ネットワーク機能を快適に利用するため

### 個人情報の取り扱いおよび免責事項について

本機の機能およびサービスを提供するため、機器ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティ環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

- 本機の接続に必要なインターネット接続機器（モデム、ルーターやハブなど）や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- 宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。
- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。

必要なとき

# 取り扱いについて（続き）

- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能状態などから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- 本機がお手元にない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

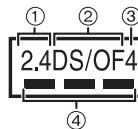
放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかるるいかかる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- |                                  |                                      |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| ●番組表表示や、1ヶ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス | ●音楽のタイトルやアーティスト情報などをインターネット経由で取得する機能 |
| ●人名検索に関する機能                      | ●AIおすすめ機能                            |
| ●シーン一覧に関する機能                     | ●その他の放送やネットワークのサービス事業者が提供するサービス      |
| ●番組ニュース機能                        |                                      |
| ●宅外リモート接続機能                      |                                      |

起きた時は、DIGA（ディーガ）・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口（**◆37**）へお問い合わせください。

## ■ 周波数表示の見かた

周波数表示は、本体背面に記載しています。



- ① 2.4 GHz 帯を使用
- ② 变調方式が DS-SS と OFDM 方式
- ③ 電波与干渉距離 40 m 以下
- ④ 2.4 GHz の帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

## ■ 無線認証 ID 表示について

本機の無線装置の認証 ID は、以下の操作で画面に表示することができます。

「ホーム」→「設定」→「機器設定」→「認証 ID について」

## ■ 機器認定

本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けた無線装置を搭載していますので、無線局の免許は不要です。ただし、以下の行為を行うと無線装置上の証明表示が無効となり、法律で罰せられることがあります。

- 無線装置を分解／改造する
- 無線装置に貼ってある証明ラベルをはがす

## ■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- 法令により、登録局と通信する場合を除き、本機の 5 GHz 帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。
- すべての使用環境で無線 LAN 接続、性能を保証するものではありません。
- 無線通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## 無線 LAN 使用上のお願い

### ■ 使用周波数帯

無線 LAN は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の周波数帯を使用します。

他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

### ■ 使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。

2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、DIGA（ディーガ）・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口（**◆37**）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが

# 仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源：AC 100 V, 50/60 Hz

消費電力：

動作時：約 26 W

待機時(クリックスタート「切」／節電待機「モード 2」)：  
時計表示消灯時・約 0.15 W<sup>\*1\*2</sup>

待機時(クリックスタート「入」省エネ)：  
時計表示消灯時・約 9.0 W<sup>\*1</sup>

待機時(クリックスタート「入」標準)：  
時計表示点灯時・約 11.0 W<sup>\*1\*3</sup>

\*1・地上デジタルアッテネーター：「入」

・BS・110度CSデジタル放送アンテナ電源：「切」  
・BS・110度CSデジタル放送アンテナ出力：「切」

\*2・外部接続端子(LAN, USB)／無線 LAN：未接続  
※3・地上デジタルアッテネーター：「入」

・BS・110度CSデジタル放送アンテナ電源：「切」

・BS・110度CSデジタル放送アンテナ出力：「切」  
・外部接続端子(LAN, USB)／無線 LAN：未接続

※4・外部接続端子(LAN, USB)／無線 LAN：未接続

※5・HDMI 出力解像度：1080i

待機時(電源「切」時)でも、番組表データの受信など本機が動作している場合の消費電力は増えます。

## 年間消費電力量

(表示値は JEITA 基準による算出式を基に算出した参考値です)

23.6 kWh/ 年

## ■本体

### 寸法：

幅 430 mm × 高さ 49 mm × 奥行き 179 mm  
(突起部含まず)

幅 430 mm × 高さ 49 mm × 奥行き 189 mm  
(突起部含む)

### 質量：

約 2.2 kg

許容周囲温度：5 ℃～40 ℃

許容相対湿度：10 %～80 % RH (結露なきこと)

## ■記録できる最大番組数(使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります)

- **HDD**：10000 (スマホ転送番組を含む)
- **BD-RE**<sup>\*4</sup> **BD-R**<sup>\*4</sup> **-R AVCREC**：200
- **-R VR** **-R V** **-RW VR** **-RW V**：99
- **USB-HDD** (録画用フォーマット)：10000 (撮影ビデオは記録できません)
- **USB-HDD** (SeeQVault フォーマット)：10000  
※4 25 GB, 50 GB, 100 GB, 128 GB 共通

## ■記録モードと記録時間の目安(4K 画質)

ディスク				内蔵HDD (2 TB)	BD-RE、BD-R				
放送 画質	4KDR	BS/CS 4K	4K 放送 (≤33 Mbps)		128 GB (片面 4 層)	100 GB (片面 3 層)	50 GB (片面 2 層)	25 GB (片面 1 層)	
			約 130 時間	約 8 時間	約 6 時間 10 分	約 3 時間	約 1 時間 30 分		
4 K 画 質	4K 1.5 倍録			約 195 時間	約 12 時間	約 9 時間 15 分	約 4 時間 30 分	約 2 時間 15 分	
	4K 2 倍録			約 260 時間	約 16 時間	約 12 時間 20 分	約 6 時間	約 3 時間	
	4K 4 倍録			約 520 時間	約 32 時間	約 24 時間 40 分	約 12 時間	約 6 時間	

「仕様」の詳細は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)をご覧ください。(活用ガイド参照方法は → 表紙)

# 著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- TiVo、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 TiVo Brands LLC および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。  
G ガイドは、米国 Xperi Inc. および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。  
米国 Xperi Inc. およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。G ガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。G ガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- 電子番組表の表示機能にG ガイドを採用していますが、当社がG ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Audio 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
- For DTS patents, see <http://xperi.com/dts-patents/>. Manufactured under license from DTS, Inc. and its affiliates. DTS, the DTS logo, Digital Surround, and DTS 2.0 + Digital Out are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. and its affiliates in the United States and/or other countries. © DTS, Inc. and its affiliates. ALL RIGHTS RESERVED.
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- QR コードは、株式会社デンソーウエーブの登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイルWnnを使用しています。  
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd.  
1999-2002 All Rights Reserved
- 富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2011-2025
- “DVD Logo” はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™”、“WPA3™” は “Wi-Fi Alliance” の商標です。
- DSD はソニー株式会社の登録商標です。
- FLAC のソフトウェアライセンス文は、「ホーム」ボタンを押し、「設定」→「メール・情報」→「[ID表示]」→「[青]」ボタンを押して「ソフト情報」をご参照ください。
- SeeQVault および SeeQVault ロゴは NSM Initiatives LLC の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスさ

れておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
- (ii) 個人の活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
- 詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpeglab.com>) をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
- (i) 画像情報を VC-1 規格に準拠して（以下、VC-1 ビデオ）記録すること。
- (ii) 個人の活動に従事する消費者によって記録された VC-1 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した VC-1 ビデオを再生すること。
- 詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpeglab.com>) をご参照ください。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[ホーム] ボタンを押し、「設定」→「メール・情報」→「[ID表示]」→「[青]」ボタンを押して「ソフト情報」をご参照ください。
- Copyright 2004-2014 Verance Corporation.  
Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第7,369,677号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。

## 無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

### Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。

無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー（ダビング）が中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、  
<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機器をネットワークに接続して利用される場合、当社は、本機器に入力された文字情報を、本機器の操作機能（かな漢字変換や番組の検索等を含む）の利便性向上や新機能の開発のために、弊社サーバー上で保管し、利用することができます。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は 2025 年 9 月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのはかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

- ・シーン／見どころ情報は、情報提供元より提供された番組関連情報を元に表示しています。当社は、シーン／見どころ情報について、表示結果としての完全性、正確性、網羅性、的確性、十分性、その他あらゆる意味での完成度について、一切保証を行ふものではありません。シーン／見どころ情報の正確性、的確性、完成度などに起因または関連して生じたお客様の損失・損害について、当社は一切責任を負わないものとします。
- ・天災・システム障害などの事由により、シーン／見どころ情報が表示できない場合があります。当社は、シーン／見どころ情報の使用に関わるいかなる損害、損害に対しても責任を負いません。
- ・Adobeは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。© 2023-2025 ACCESS CO., LTD.  
All rights reserved. 本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- ・「位置参照情報ダウンロードサービス」（国土交通省）  
(<https://nftp.mlit.go.jp/ksj/other/agreement.html>) を加工して作成



本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。  
 (1)パナソニック エンターテインメント＆コミュニケーション  
 株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア  
 (2)第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされた  
 ソフトウェア

- (3)GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0)に基づきライセンスされたソフトウェア
  - (4)GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1)に基づきライセンスされたソフトウェア
  - (5)GPL V2.0、LGPL V2.1以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア
- 上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して販売されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての暗示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品のソフト情報表示画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。  
 パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：[oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com](mailto:oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com)

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。  
<https://docs.connect.panasonic.com/oss/>

#### ソフトウェア更新に関する重要なお知らせ

①当社は、ブルーレイディスクレコーダーに内蔵のソフトウェアを、バグ等の修正、機能改善、機能追加、セキュリティ機能の強化などを目的に更新いたします。当該更新により、利用者が使用されるブルーレイディスクレコーダーおよび内蔵ソフトウェアの機能の追加、削除等の変更が行われる場合があります。②また、当該更新は当社の判断により行われ、その適用をブルーレイディスクレコーダーおよび内蔵ソフトウェアの継続的な使用的の条件とすることがあります。なお、内蔵ソフトウェアの更新にともない、利用規約の条件を追加、修正、削除する等一部変更する可能性がありますが、いずれの場合も表示部上またはサポートサイト（<https://panasonic.jp/support/av/diga601/>）上にて事前に周知されます。③当社は、法律により許容される範囲において、内蔵ソフトウェアの更新に関して、故意または過失により生じた場合を除き、利用者に対して一切の責任を負うものではありません。利用者に対して一切の責任を負うものではありません。利用規約に同意いただけない場合は、設定よりソフトウェアを更新しない設定でお使いください。

# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは  
まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 ( ) -

お買い上げ日 年 月 日

ACAS番号

※ ACAS 番号を記入してください。

お問い合わせのときに必要な場合があります。  
ACAS 番号を確認するには（**→9**）

※ ACAS チップが故障した場合には、部品交換修理になり、ACAS 番号が変わります。  
その際には、ご契約先の NHK や有料放送に変更連絡してください。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな!?」（**→29**）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をお買い上げの販売店にご連絡ください。

● 製品名 ブルーレイディスクレコーダー

● 品番 DMR-4TS204S

● 故障の状況 できるだけ具体的に

● 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、  
おそれりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

● 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理をさせていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

● 転居や贈答品などでお困りの場合は、「DIGA（ディーガ）・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口」、「修理に関するご相談窓口」（**→37**）にご連絡ください。

お問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることができます。（**→29**）

事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

## 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

## お問い合わせについて

まずは、本書の「故障かな!?」(→29)をご確認ください。

解決しない場合は、下記のご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

## サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support>



### DIGA（ディーガ）・オーディオ 使い方・お手入れなどご相談窓口



**0120-878-982**

受付時間  
9:00~18:00 月~土曜日  
(祝日・正月三が日を除く)

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
- FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

電話番号・受付時間は予告なく変更する場合があります。  
最新情報は上記QRコードから確認できます。



### 修理に関するご相談窓口



**0120-878-554**

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合 受付時間 9:00~18:00  
**03-6633-6700** (一部地域を除く)



<https://panasonic.jp/support/repair.html>

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。  
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ご使用的な回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- 受付時間などの最新情報はWebをご確認ください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。  
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

必要なとき



## <無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障し、保証期間内に修理ご依頼いただいた場合には、無料修理をさせていただきます。  
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、取扱説明書から切り離した本書を添え、お買い上げの販売店にお申しつけください。  
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合は、修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入された販売店で修理をお受けになれない場合は、修理ご相談窓口にご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合は、原則として有料にさせていただきます。  
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷  
(ロ) 取付場所の移設、輸送、落下、衝撃などによる故障及び損傷  
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷  
(二) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷  
ただし、車載を目的とした機器は除く  
(ホ) 電池や消耗または摩耗した部品交換の場合  
(ヘ) 一般家庭用以外(例えば、業務用など)に使用された場合や指定外の動作環境で使用された場合の故障及び損傷  
(ト) 本書のご添付がない場合  
(チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合  
(リ) 商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等や出張修理等を行った場合の出張料は、お客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
7. 修理ご相談窓口は、本書表面をご参照ください。

### 修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間にについては、取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご覧ください。

※修理に際し、本体交換による修理や再生部品、代替部品を使用する場合がございます。交換した本体、再生部品は回収させていただきます。

※This warranty is valid only in Japan.

### 愛情点検

### 長年ご使用的ブルーレイディスクレコーダーの点検を!



こんな症状は  
ありませんか

- ・煙が出たり、異常ににおいや音がする
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・変形や破損した部分がある
- ・その他の異常や故障がある

ご使用  
中止

故障や事故防止のため、  
電源を切り、コンセント  
から電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検を  
ご相談ください。

# Panasonic

持込修理

## 映像・音響製品 保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には  
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。  
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載し  
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い  
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

*品番	DMR-4TS204S		
保証期間	お買い上げ日から <b>本体 1年間</b>		
*お買い上げ日	年	月	日
*お客様	ご住所	お名前	
	お名前	電話 ( ) -	
*販売店	住所・販売店名		
	電話 ( ) -		

パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号 修理ご相談窓口 (0120) 878-554

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。



### 「CLUB Panasonic」に「商品登録」をお願いします

ご利用の家電をまとめて登録管理、商品のサポートも充実

詳しくはこちら <https://panasonic.jp/membership/mylist>



パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

DVQX2919ZA/X1  
F0925KY0